



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社オプトラン 上場取引所 東
 コード番号 6235 URL <http://www.optorun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 林 為平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理部長 (氏名) 高橋 俊典 TEL 049-239-3381
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	21,811	—	5,425	—	5,719	—	3,972	—
29年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 30年12月期第2四半期 3,567百万円（—％） 29年12月期第2四半期 ー百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	96.43	89.75
29年12月期第2四半期	—	—

（注）当社は平成29年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第2四半期の数値及び平成30年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	56,998	24,677	43.3
29年12月期	56,425	22,606	40.0

（参考）自己資本 30年12月期第2四半期 24,668百万円 29年12月期 22,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	42.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	31.2	8,100	10.5	8,200	15.6	5,700	18.4	139.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	44,358,000株	29年12月期	44,358,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	3,000,000株	29年12月期	3,450,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	41,196,099株	29年12月期2Q	－株

- (注) 1. 当社は平成29年3月18日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割及び平成29年10月13日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。
2. 当社は平成29年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

※ 当社は平成30年8月10日（金）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日から2018年6月30日)におけるわが国経済は、個人消費や設備投資等を中心に緩やかな上昇傾向にあります。世界経済は全体として堅調に推移しているものの、米中貿易摩擦の問題や各国の政策動向で不透明な状況も生じております。

このような状況ではありますが、光学薄膜装置関連では、世界市場全体として旺盛な需要が続いており、北米・東アジアで活発な設備投資が継続しております。スマートフォン向け成膜装置では、生体認証・筐体バックガラス加飾膜等の成膜ニーズが生じており、一眼レフカメラ・監視カメラ等向け成膜装置の販売も好調に推移いたしました。また、IoT関連の自動車に搭載するカメラやセンサ等の自動車関連向け成膜装置や指紋・顔等を認識する生体認証向け成膜装置も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は21,811百万円、営業利益は5,425百万円、経常利益は5,719百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,972百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、52,316百万円と前連結会計年度末に比べ60百万円の増加となりました。増加した要因は現金及び預金の減少があったものの、仕掛品や受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。

固定資産は、4,682百万円と前連結会計年度末に比べ512百万円の増加となりました。増加した要因は出資金が増加したことなどによるものです。

(負債)

流動負債は、30,096百万円と前連結会計年度末に比べ1,941百万円の減少となりました。減少した要因は、前受金の増加があったものの、短期借入金や支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものです。

固定負債は、2,224百万円と前連結会計年度末に比べ444百万円の増加となりました。増加した要因は繰延税金負債が増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、24,677百万円と前連結会計年度末に比べ2,070百万円の増加となりました。増加した要因は利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11,022百万円となり、前連結会計年度末と比べ8,871百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,719百万円や前受金の増加5,517百万円などの収入はあったものの、たな卸資産の増加5,327百万円や売上債権の増加5,063百万円などの支出により、2,304百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、出資金の払込による支出681百万円などにより、926百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少3,800百万円や配当金の支払額1,632百万円などにより5,413百万円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,893,800	11,022,722
受取手形及び売掛金	3,380,450	8,088,135
仕掛品	20,228,921	25,770,609
原材料及び貯蔵品	4,878,864	4,241,971
繰延税金資産	963,357	1,396,133
その他	3,091,683	2,189,194
貸倒引当金	△181,290	△392,110
流動資産合計	52,255,788	52,316,657
固定資産		
有形固定資産	2,862,834	2,824,586
無形固定資産	81,102	73,626
投資その他の資産		
投資有価証券	215,829	92,400
出資金	725,374	1,368,494
繰延税金資産	36,945	58,541
その他	247,854	264,496
投資その他の資産合計	1,226,004	1,783,932
固定資産合計	4,169,940	4,682,145
資産合計	56,425,729	56,998,802
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,303,432	4,928,120
短期借入金	8,970,637	5,162,885
1年内返済予定の長期借入金	209,742	190,992
リース債務	13,031	12,254
未払法人税等	1,757,632	1,389,173
前受金	11,327,160	16,774,474
賞与引当金	435,049	436,538
役員賞与引当金	164,924	—
製品保証引当金	68,558	95,612
その他	1,788,161	1,106,557
流動負債合計	32,038,328	30,096,608
固定負債		
長期借入金	397,856	302,360
リース債務	35,000	29,262
繰延税金負債	977,848	1,507,489
役員退職慰労引当金	235,337	246,207
退職給付に係る負債	125,119	130,365
その他	9,475	9,050
固定負債合計	1,780,637	2,224,735
負債合計	33,818,966	32,321,343

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	9,052,807	9,162,730
利益剰余金	12,871,295	15,207,695
自己株式	△226,755	△197,178
株主資本合計	22,097,346	24,573,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,451	4,552
繰延ヘッジ損益	△86,078	—
為替換算調整勘定	580,148	90,697
その他の包括利益累計額合計	499,521	95,250
非支配株主持分	9,895	8,960
純資産合計	22,606,763	24,677,458
負債純資産合計	56,425,729	56,998,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	21,811,220
売上原価	12,825,643
売上総利益	8,985,577
販売費及び一般管理費	3,559,636
営業利益	5,425,940
営業外収益	
受取利息	20,382
受取賃貸料	55,313
為替差益	298,009
その他	2,344
営業外収益合計	376,049
営業外費用	
支払利息	18,783
持分法による投資損失	63,623
その他	402
営業外費用合計	82,809
経常利益	5,719,180
税金等調整前四半期純利益	5,719,180
法人税等	1,747,159
四半期純利益	3,972,021
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△699
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,972,720

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,972,021
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△898
繰延ヘッジ損益	86,078
為替換算調整勘定	△470,380
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,070
その他の包括利益合計	△404,271
四半期包括利益	3,567,749
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,568,684
非支配株主に係る四半期包括利益	△934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2018年1月1日
至 2018年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,719,180
減価償却費	121,482
貸倒引当金の増減額(△は減少)	210,820
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,605
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△164,924
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,246
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,870
受取利息	△20,382
支払利息	18,783
為替差損益(△は益)	166,985
持分法による投資損益(△は益)	63,623
売上債権の増減額(△は増加)	△5,063,365
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,327,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,920,349
前受金の増減額(△は減少)	5,517,055
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,144,244
その他	△833,527
小計	△341,197
利息の受取額	20,382
利息の支払額	△20,144
法人税等の支払額	△1,963,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,304,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△186,346
無形固定資産の取得による支出	△6,889
出資金の払込による支出	△681,560
貸付けによる支出	△51,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△926,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,800,000
長期借入金の返済による支出	△114,246
リース債務の返済による支出	△6,515
ストックオプションの行使による収入	139,500
配当金の支払額	△1,632,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,413,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△226,233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,871,077
現金及び現金同等物の期首残高	19,893,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,022,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)
成膜装置事業	16,537,991

(注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
成膜装置事業	23,939,477	46,298,168

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

セグメントの名称	売上高(千円)
成膜装置事業	21,811,220

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。